

令和6年度 桜尾小学校 学校経営の全体構想

〈県〉第4次岐阜県教育振興基本計画
*「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人の育成
(自立力・共生力・創造力)
〈市〉やまがた教育ビジョン2020
*違いを認め、それぞれが努力し、あたりまえに支え合える人
*自分で考え、多様な人と協働し、新たな価値をデザインする人

学校の教育目標
自ら学び やりぬく子

〈めざす学校像〉
みんなの笑顔が輝く学校

一人一人の 命を磨き
かけがえのない 命を守り
未来を創造する 命を輝かせる学校

〈地域が学校に寄せる期待〉

*ふるさと山県を学ぶ体験を通して、よりよい未来を考え、実現に向けて児童の力を引き出す学校
*探究的な学びによって地域の魅力を発見し、人つながり、地域とともにある学校を活性化する
*Well-being（幸福で充実した生活）をめざし、仲間と共にたくましく生きる児童が育つ学校

願う児童の姿

お互いを尊重し合い、願いをもって自らの可能性に挑戦し続ける児童
～一人一人が自らを正しく磨き、互いを守り合い、自分らしく輝く～

創造力

よりよいものを求め、仲間と創り出す子

自立力

基盤となる日常の学びを大切にし
自ら考え、行動する子

共生力

願いをもって他者とのつながり
よりよい自分を求めて挑戦する子

豊かな人間性

自他のよさを認め合い
主体的に仲間と関わる

学力と実践力

自ら課題と向き合い
主体的に学び、探究する

健やかな体

自分の命は自分で守る
自分の健康は自分でつくる

学びの環境・集団

多様な他者と協働する
学びを支える環境をつくる

教育活動の具体

豊かな心づくり (自 働)

- ◎自他を大切にする教育の構築
- ・一人一人を価値付ける道徳教育、活動の充実
- ・児童が主体となる特別活動（委員会活動）の日常化
- ・互いを認め合い、支え合う基盤をつくる人権教育
- 実験体験を伴う山県の魅力に触れるふるさと教育の活性化
- ・生活科、総合的な学習の時間（さくらお探検隊）における地域を探求する学びの充実

確かな学びづくり (自 学)

- ◎思考力を高める自立的な学び
- ・基礎的・基本的な学力の定着を促す指導と評価の一体化
- ・学習規律、学び方の定着
- ・指導の個別化、学習の個性化を図るICTの利活用
- 社会的な課題を考えるNIE
- ・新聞記事を通して仲間と考え、自らの思いを社会に発信する
- 読書活動の推進
- ・文字に触れ、心を醸成させる読書の習慣化

健やかな体づくり (自 錆)

- ◎健康安全、防災教育の充実
- ・歯と口腔の健康づくりを核とした学校と家庭における健康教育、健全な生活習慣の定着
- ・防災への認識を高め、実践力を付ける命を守る訓練
- ・危険回避能力を育む安全教育の徹底
- 運動能力の向上を図る取組
- ・異年齢グループによる体力づくり遊びの工夫

学びの環境・集団づくり (山県学園)

- ◎小規模校の魅力化推進
- ・異年齢集団（縦割り）の活用
- ◇なかよし班集団
- 特別活動、掃除、休み時間
- ◇問い合わせ集団
- 総合的な学習の時間
- さくらお探検隊として探究学習
- ◇低・中・高集団
- 生活科、英語、体育の学習
- ◎他校とつながる山県学園構想
- ・市内小中学校との連携強化

〈学校の教育目標を具現するための特色ある取組〉

- ◇やまがた教育ビジョン2020「小規模校の魅力化推進」：異年齢学習の実践 ONE 山県学園
- ◇質の高い学び(個性の伸長)を保障する教科担任制度・安心して学習できる環境をつくるサポーター制度

いじめを絶対に許さない学校風土づくり

- 【未然防止】
 - ・ここタンの日常的な活用 → 児童の「今」を把握 即時性を伴った組織的な教育相談
 - ・「お話タイム（教育相談）」全児童対象（月1回）・「心と体の元気調べ」を基にした生徒指導交流会
- 【適切な教育指導】・「いじめは人間として絶対に許されない」意識の醸成 ·SOS を出すことのできる関係づくり：いのちの教育
- 【実効性ある指導体制の確立】・全校児童を全職員で見守る体制の日常基盤 ·定期的な校内いじめ対策委員会の実施
- 【家庭・地域との連携】・保護者等からの情報には、謙虚に耳を傾け、誠意が伝わる対応（組織的に複数で対応）

〈学校運営協議会〉

コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校」を実現させる桜尾の「地域力」と「家庭力」

- ◇地域力：学校運営協議会を核とする地域力の活性化 → 学校参画の機会拡大・教育環境の整備
 - 地域人材「さくらおりソース」の活用 → 総合的な学習の時間や生活科でのゲストティーチャーとして指導
 - 「命を守る訓練」等の防災教育での防災士による助言
- ◇家庭力：PTA・保護者が積極的に児童に関わる家庭力の強化 → 家庭や地域とのコラボレーション
- 「自分の命は自分で守る 自分の健康は自分でつくる」実践 → 歯と口腔の健康づくり